

■「妊娠中に再発したアトピー性皮膚炎が、 インナーチャイルド癒しに取り組むことで劇的に改善したケース」

日本ホメオパシーセンター旭川永山

JPHMA 認定ホメオパス No.0818

ZEN メソッド修得認定 No.0241

安藤 玲（あんどう あき）

【主訴】女性 37 歳

- ① 妊娠4ヶ月目位から、それまで落ち着いていたアトピー性皮膚炎（以下 アトピー）の湿疹（背中、腰、おしり、胸、顔、首、頭、お腹、腕、足、脇、股、肛門、手の痒みの順に増える）が出る
- ② アトピーの痒みが酷く夜も常に背中を冷やしていないと眠れず、冷やす事で胎児への影響が気になるが痒みが酷く止められない
- ③ 妊娠中に便秘へ使用した酸化マグネシウム剤やアトピーに使用したステロイドの影響への不安
- ④ 酷い痒みとアトピーで自分の見た目が汚いことに、とても気分が落ち込み、常にイライラする
- ⑤ 第一子はダウン症なので、今回の妊娠も奇形が出ないか常に不安
- ⑥ 毎回、出産に掛かる時間が長く、今回の第三子のお産にも恐怖がある

【方法およびタイムライン】

<タイムライン>

出生体重 3,580 g ミルクは混合

生後すぐ 乳児湿疹がひどく、耳垢がドロドロだった

3ヶ月 先天性白蓋形成不全と診断、リーメンベルト装着
アトピーが出始め、ステロイドを塗り始める

3歳 交通事故に遭う、無傷だった
不安や緊張から腹痛を起こす（30歳まで）

7～12歳 小学生の時、いじめを受ける

13～15歳 中学生の時、いじめを受ける

16～18歳 顔に酷いアトピー。薬を何も使えない状態になる。激太りをする

24歳 大学院入学。教授が厳しく、円形脱毛症になる

26歳 教員として就職するが学年が荒れ、急性胃腸炎で長期休職

28歳 結婚

30歳 第一子男（ダウン症）を出産

32歳 第二子女（アトピー）を出産

- 34 歳 夫が浮気。別居
 35 歳 右股関節を人工関節に手術。夫と関係がもどる
 37 歳 第三子妊娠
 落ち着いたアトピーの湿疹が再発（背中、腰、おしり、胸、顔、首、頭、お腹、腕、足、脇、股、肛門、手の痒みの順に増える）

※以前、ホメオパシー健康相談会を受けるが、アトピーの好転反応が辛く、症状が出る度に恐怖が増し、相談会を中断した経緯があるためミネラルレメディーを中心になるべく穏やかに改善出来るようにした。

【1回目 2018/05/16】

随時 : サポートΦ腸内細菌
 +Blessing. 30C + Kali-s. 12X + Kali-ar. 12X + Moly. 12C + Acon. 6C
 朝 : Calc. LM2 + Zinc. LM2 + Tub-b. LM3
 夜 : Sep. LM4

※Blessing./ブレッシング、Kali-s./硫酸カリウム、Kali-ar./砒酸カリウム、Moly./モリブデン、Acon./ヨウシュトリカブト、Calc./炭酸カルシウム、Zinc./亜鉛、Tub-b./牛の結核菌、Sep./イカ墨

【TBR】：上記の症状に対し TBR (The Bonninghausen repertory の略) を使って検索
 レメディー選択根拠

- 1 : 1510# 3. 全般 - 3. 全般 - 7. 発疹 - 痒疹に似た ;
 2 : 1528# 3. 全般 - 3. 全般 - 8. 痒み - 虫などがはうような・むずむずする感覚(非移動性の、一個所の) ;
 3 : 1467# 3. 全般 - 3. 全般 - 7. 発疹 - 治りにくい(びらん性の、蔓延する) ;
 4 : 1484# 3. 全般 - 3. 全般 - 7. 発疹 - 痛む ; - 焼けるような痛み・灼熱感 ;
 5 : 779# 3. 全般 - 1. 精神 (および気質) - 1. 精神 - 不安 ;
 6 : 1727# 4. 基調 - 1. 基調 - 2. 温度、季節、天候 - 暖かいこと(暖かさ) - 温まると(+好転 冷えると) ;
 7 : 1746# 4. 基調 - 1. 基調 - 3. 精神 - 怒り(時間を経て積み重なった、温められた怒り)から ;
 8 : 1747# 4. 基調 - 1. 基調 - 3. 精神 - 不安(恐れおよび恐怖も)から ;
 9 : 434# 2. 系統 - 1. 栄養(消化) - 9. 排便および大便 - 排便、刺激性の(腐食性の、表皮剥離を生じる) ; - 節たらしめ(でこぼこした、ヒンジの糞のような) ;

順位	レメディー	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	Sulf.	9	24	3	4	2	3	3	3	1	1	4
2	Nux-v.	9	23	2	3	1	3	3	1	4	3	3
3	Sep.	9	21	3	4	3	2	3	1	1	1	3

- ・サポートΦ腸内細菌：アトピーの痒みに対して
- ・Blessing：霊的な影響を考慮して
- ・Kali-s.：皮膚のサポートとして
- ・Kali-ar.：皮膚のサポートとして
- ・Moly.：副腎のサポートとして
- ・Acon.：出産時間が掛かることや奇形に対する恐怖
- ・Calc.：母子ともに不足していると思われるミネラルに対処
- ・Zinc.：母子ともに不足していると思われるミネラルに対処
- ・Tub-b.：アトピーでの湿疹に対して
- ・Sep.：TBR 検索の3位、背中に痒い発疹、自分の健康のことで悲しい、イライラに対処

【クライアントへのアドバイス】

インナーチャイルドを癒し、母にかけて欲しかった言葉を自分にかけることを勧める。
食事は、無農薬の食べ物を食べてもらう。肉や卵も控えてもらう。

【経過】

- ・レメディーをとり始めてすぐに全身の痒みが強まり、痒みがないのは足裏のみ。
- ・とり始めて1週間程度で、痒みが少なくなった箇所は足、お尻、お腹、胸。
- ・顔、首、肩、二の腕、肘内側、手首、背中は一進一退を繰り返す。顔に関しては、赤みと痒みを繰り返し、皮がむけて良くなるのを繰り返す。
- ・常に湿疹があるのは、背中、首、肘内側、手の甲、手首。全体的に初回相談会時（2018/5/16）よりも症状が減ってきている。
- ・肌の汚さと痒みで気持ちが辛い時に、インナーチャイルド癒しをし「絶対治るよ、大丈夫だよ」と自分を抱きしめ安心させると症状が落ち着く。

【2回目 2018/06/27】

随時	: MT) ボラーゴ + Acon. 30C + Calc. 6C + Moly. 12C + Kali-s. 12X + 祝詞. 30C
朝	: Kali-c. LM3 + Zinc. LM3
昼	: Psor. LM4 + Tub-b. LM4
夜	: Sep. LM5

※Acon./ヨウシュトリカブト、Calc./炭酸カルシウム、Moly./モリブデン、Kali-s./硫酸カリウム、祝詞./祝詞、Kali-c./炭酸カリウム、Zinc./亜鉛、Psor./疥癬、Tub-b./牛の結核菌、Sep./イカ墨

【TBR】

レメディー選択根拠

- 1 : 1503# 3. 全般 - 3. 全般 - 7. 発疹 - 落屑性の・鱗屑のある(薄片になってはがれ落ちる) ;
- 2 : 1528# 3. 全般 - 3. 全般 - 8. 痒み - 虫などがはうような・むずむずする感覚(非移動性の、一個所の) ;
- 3 : 1467# 3. 全般 - 3. 全般 - 7. 発疹 - 治りにくい(びらん性の、蔓延する) ;
- 4 : 1468# 3. 全般 - 3. 全般 - 7. 発疹 - 痒み ;
- 5 : 1727# 4. 基調 - 1. 基調 - 2. 温度、季節、天候 - 暖かいこと(暖かさ) - 温まると:(+好転 冷えると) ;
- 6 : 1940# 4. 基調 - 1. 基調 - 5. 状態および状況から - 特に女性に関して ; - 妊娠中 ;
- 7 : 839# 3. 全般 - 2. 睡眠 - 4. 不眠 - 不眠が、その他の病訴によって引き起こされる ;
- 8 : 434# 2. 系統 - 1. 栄養(消化) - 9. 排便および大便 - 排便、刺激性の(腐食性の、表皮剥離を生じる) ; - 節がけの(でこぼこした、ヒンジの糞のような) ;
- 9 : 779# 3. 全般 - 1. 精神 (および気質) - 1. 精神 - 不安 ;

順位	レメディー	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	Sep.	9	28	2	4	3	4	1	4	4	3	3
2	Sulf.	9	28	3	4	2	3	3	3	3	4	3
3	Merc.	9	25	3	3	2	3	3	1	4	4	2
4	Kali-c.	9	17	1	3	2	3	1	1	3	2	1

- ・MT) ボラーゴ : 皮膚の炎症と痒み、弱った副腎のサポートとして
- ・Acon. : 出産時間が掛かることや奇形に対する恐怖
- ・Calc. : 母子ともに不足していると思われるミネラルに対処
- ・Moly. : 副腎のサポートとして
- ・Kali-s. : 皮膚のサポートとして
- ・祝詞 : 霊的な影響を考慮して
- ・Kali-c. : 母子ともに不足していると思われるミネラルに対処
- ・Zinc. : 母子ともに不足していると思われるミネラルに対処
- ・Psor. : アトピーでの湿疹に対して
- ・Tub-b. : アトピーでの湿疹に対して
- ・Sep. : TBR 検索の 1 位、背中に痒い発疹、自分の健康のことで悲しい、イライラに対処

【クライアントへのアドバイス】

インナーチャイルド癒しで、イメージで自分を抱きしめ安心する言葉をかけることを勧める。自分の肌を汚いと思う事を減らすこと自分を愛することを勧める。

引き続き、無農薬の食べ物を食べてもらう。肉や卵も控えてもらう。

【結果】

- ・足、お尻、お腹、胸、顔、首、肩、二の腕、肘内側、手首、背中中の湿疹は、跡だけ残してほとんど治る。
- ・痒みもなく、最後の1ヶ月間は楽しくマタニティ生活を送れた。
- ・第三子出産時に手の甲と肘内側に湿疹は残り、今後の改善の課題となる。
- ・いつも3日間以上かかっていた出産は、今回は3時間だった。
- ・インナーチャイルド癒しを続け、安心することで、好転反応への恐怖心がなくなり、クライアント本人が「毒だしをしている」と言えるほど、症状に対して余裕を持ち俯瞰出来るようになる。

【考察】

症状への恐怖心と不足しているミネラルをカバーするレメディーと共に、インナーチャイルド癒しをすることで劇的に改善したケース。30年近くステロイドを塗っていた影響から、副腎に負担が掛かり、自らの皮膚の炎症を抑えられない状態が続いたが、弱っている臓器のサポートをすることで大きく改善した。また、第一子がダウン症の為、奇形が出ないよう霊的な影響やカルマ的背景を考えレメディーを出すことで、奇形やアトピーが無く出産することが出来た。インナーチャイルド癒しに取り組み、心を癒したことで、症状が出る恐怖や出産への恐怖を乗り越えられたケース。

カテゴリー：[アレルギー・アトピー・皮膚疾患] [メンタルヘルス、インナーチャイルド] [薬剤等からの影響] [妊娠・出産・女性の症状]